

平成 29 年度 第 1 回大阪地方会 活動報告

平成 29 年 5 月 20 日 (土)

於：吹田徳洲会病院 地下講堂

平成 29 年 5 月 20 日 (土) 吹田徳洲会病院地下講堂にて、平成 29 年度 第 1 回大阪地方会を開催いたしました。当日は初夏の暑さを超えた真夏日の中、会員 45 名 非会員 66 名、合計 111 名の方にご参加いただくことが出来ました。世話人一同、感謝申し上げます。

初めに開催病院である吹田徳洲会病院院長の金香充範先生より開会のご挨拶をいただきました。医師事務作業補助者が配置されると、「診療に専念できるので医師が助かる」「病院の経営基盤が強化され経営者が助かる」だけ



ではなく、なにより「スムーズな診療を受けることが出来て患者様が嬉しい」とお話しくださいました。そして医師が心より「助かっている」と感じるためには、医師が持つ知識の半分くらいは理解しておく必要があるのです、このような機会に積極的に勉強して欲しいとのお言葉をいただきました。

開会のお言葉の後、『心臓の病気～解剖から最新治療まで～』と題して、吹田徳洲会病院院長 心臓血管外科 金香充範先生に引き続きご講演をいただきました。私たちにとって「心臓はとても難しくてややこしい！！」と感じるものですが、ご講演の始めに、体の大きさや体重と、1 分間当たりの心拍数は反比例していて、結果、それぞれの一生の心拍数は同じくらいになるという「ゾウとネズミの時間」のお話や、魚類は 1 心房 1 心室、カエルは 2 心房 1 心室などのお話しをしてくださり、構えずにご講演を聞くことが出来ました。

資料もとてもわかり易く、所々で「覚えたい言葉」「覚えたい専門用語」を示してくださり、心臓の解剖生理から病気の説明まで、優しく丁寧にご説明くださいました。最後には最新治療の動画も見せていただき、ご講演いただいた内容がよりイメージしやすく、とても勉強になるご講演だったのではないかと思います。





続いて、『新企画！！ やってみよう！カルテを見ながら書類作成』として、模擬カルテを使用し、皆さんで介護保険主治医意見書を作成していただきました。この時間も金香子充範先生にご参加いただき、模擬患者の病状のご説明いただきました。その後、書類を少しずつ書き進め、途中でグループの代表の方に解答例の発表をしてい

いただきました。偶然かもしれませんが、同じ解答はなく、病院ごとに表現等に違いがあることがわかりました。書類作成中も金香充範先生に質問をされる方もおられ、参加者の皆様の熱意が伝わってきました。

恒例の支部長賞のジャンケンも金香充範先生に行っていただき、終始和やかな雰囲気でした。

最後に、大阪府支部の西川支部長より、先生方が表面的に楽になるのではなく、心の底から「助かっている」と思っていたくためには、私たちに医学知識が備わっていることが不可欠であると考えること。そしてこのような勉強会の場で、お互いに情報交換をしながら交流を深めることで、医師事務作業補助の発展に繋がっていきたいと考えているため、皆様からのご支援、ご賛同をお願いしますとの言葉で閉会となりました。

今後も参加者の皆様の業務に活かせるような講演や勉強会を企画し、医師事務作業補助の更なる成長と、知名度向上とともに資格制度を目指したいと思いますので、ご支援の程よろしくごお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。



NPO 日本医師事務作業補助研究会
大阪府支部 副支部長 事務局
府中病院 堀田 恵